

滝川市長 前田 康吉 様

滝川市の環境施策に関する評価報告及び提言書

令和3年2月24日

滝川市環境市民委員会

1 趣旨

この評価報告書及び提言書は、滝川市環境基本条例 29 条に基づき、滝川市環境市民委員会（以下「委員会」という。）として調整した評価及び提言などについて、滝川市長に対して年に 1 度、提出するものである。

なお、ここで評価対象とするのは前年度（令和元年度）の取組に対する評価を含め、計画期間内での施策などの進捗状況についてである。

2 令和元年度までの取組などに関する評価について

令和元年度までの取組に係る評価については、別添「評価シート」のとおりとし、特に次の点について高く評価する。

1) ごみの減量化・分別について

ごみの減量化は大きな課題である。市民が最も目にしやすい「広報たきかわ」でごみの特集を掲載し、市民にごみの減量を訴え、リユースの PR を行ったことは、非常に良い取り組みだった。

ごみ減量対策のひとつとしてごみの分別を推進し、資源として再利用可能なものについて、市民の利便性を考え回収拠点を設置し回収をしていることは、地道な活動ではあるが大切な取り組みであり、今後も継続を期待する。

2) 環境美化活動の推進について

市民のリサイクルに対する意識向上を目的に、街路樹の落ち葉用回収袋をくらし支援課で配布しており、落ち葉とごみを分別していることは、リサイクルだけでなく、ごみの減量化にもつながっている。また、「たきかわクリーンデー」については町内会や学校、事業者の取り組みとして定着しており、環境美化の取り組みとして高く評価するとともに今後も継続を期待する。

3) 地球温暖化対策の推進について

空知自動車学校と連携し、卒業講習及び高齢者講習で燃費の向上を目的とした「エコドライブ」について講義し、地球温暖化防止に向けた行動の意識を高める取り組みは、「急加速」や「急減速」といった運転を行わないことが、安全運転にもつながることから、高く評価するとともに今後も継続を期待する。

4) 環境教育の充実について

多くの市民が集まる「そらちWaiWaiフェスタ&滝川市リサイクルフェア」において、水素燃料発電装置搭載のエコカー展示とエコドライブシュミレーターによるエコドライブ体験ブースの出展により、エコカーとエコドライブへの関心を高めたことは、環境教育の新たな取り組みとして評価する。

3 今後の取組に向けた提言について

今後に向けたあるべき姿や方向性、検討を要望する事項については、次の点を提示する。

1) ごみの減量化・分別について

資源回収は限りある資源の有効活用だけではなく、ごみ減量化にも効果が非常に高いが、回収量が減少傾向にあることから、回収の多くを占める集団資源回収を中心に、奨励金交付手続きの簡略化等、今後も継続できる体制をサポートしていただきたい。

2) 地球温暖化対策の推進について

気候危機が現実的なものとなっており、国内においても脱炭素化に向けた動きが急速に進んでいる。今後も「移動」や「住居」における脱炭素化を、市民や事業者への情報提供や、市の率先的な取り組みによって推進していただきたい。

街路灯についてはLED化が進み省エネルギーにより、地球温暖化対策として好ましい状況となっているが、LEDにも寿命があることから、水銀灯やナトリウム灯からの切り替えに対する補助だけでなく、LED化が継続可能となる取組を検討していただきたい。

3) その他

令和元年末から新型コロナウイルスの影響により、人が集まるイベントや講習会等が開催できなかった状況にある。今後の環境学習リーダー養成などの講習会の開催については、オンライン実施の可能性について検討していただきたい。

また近ごろ、広く社会に知られるようになったSDGs（持続可能な開発目標）は、環境と経済、社会の3つの側面は不可分であり、統合的な向上のために、多様な主体との協働が重要であるとしている。市の取り組みを展開する上で、SDGsを活用し、他分野との連携を進めていただきたい。

委員会としては、今後、滝川市が環境施策を展開していく中で、以上の各事項について十分に留意し取進めるよう要望し、報告及び提言する。

令和3年2月 日

滝川市環境市民委員会 委員長 高瀬 慎二郎